

2013年の遊林会による里山保全活動は、41回の作業に延べ649人の参加があり、事故もなく無事に作業を終えられたことにスタッフ一同、感謝しております。

2014年も41回の作業を予定しています。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

☆第2土曜日・観察会

紅葉も終わって森の中には落ち葉がいっぱい！ということで、12月の観察会は「葉っぱ」がテーマです。

木は葉っぱに光を浴びて栄養分を作ります（光合成）。木にとって葉っぱは大事な部分なのですが、「じゃあ、なぜ冬になったら葉っぱを落とす木があるのか？」という素朴な疑問。

その答えは、葉っぱは木の中でも弱い部分で、寒さや乾燥に弱く、無理に冬に葉っぱをつけていると、葉っぱが凍ってそこから木が死んでしまうからです。このように、弱い部分を捨てて冬を過ごす木を落葉樹と呼びます。

じゃあ、冬でも葉っぱをつけている木（常緑樹）はどうしているのか？それは、葉っぱにある「クチクラ層」と呼ばれる部分を分厚くさせて、寒さや乾燥から身を守っています。クチクラ層は水を通さない層で、雨水が葉っぱに入るのを防いだり、葉っぱからの水分の蒸発を防いでいます。

このように、木は寒さや乾燥に、葉っぱを「落とす」あるいは「残す」という相反する方法で対応しています。そうしたことを、実際に森で観察しました。

☆第2土曜日・作業内容

最近の第2土曜の作業日は20～30人くらいでの活動が続いていましたが、今回の作業は38人



恒例のお餅つき！

と、久しぶりに賑やかな活動となりました。さて、今月の作業は4つ。

1：くさはら広場機械刈り

くさはら広場のロープで囲っている区域は、1年に1回すべての草や新たに生えてきた木を切って、草はらとして維持しています。しかしここ数年、刈った草を現場に放置しておいたらその後の草の生育が悪く、想定していたような草はらになりませんでした。そこで、



満員御礼だったコンサート

今年は気合い

を入れて草を刈った後、すべての草を区域の外に運び出しました。これにはたいへんな労力がかかりましたが、おかげでくさはら広場は劇的に変化しました（遊林会のHPでご覧になれます）。

2：炭の箱詰め作業

炭焼き名人・城さんが焼いてくださった炭を計量して段ボール箱に詰めていきます。この日だけで26箱（1箱4kg）も箱詰めできました。

3：落ち葉かき

林床に光が当たるよう落ち葉をかきます。この作業では子どもたちが大活躍でした。昨年に引き続き、今年も集めた落ち葉の一部は市内の保育園を通じて東北の保育園に送りました。

4：昼食作り

12月は作業を午前中で終え、恒例の餅つきから昼食のスタートです。つきたてあつあつのお餅をきな粉、大根おろし、そして前日からコトコト炊いて作ったあんこの3種類の味で楽しみました。その後はおでんと大根サラダ、カリフラワーの酢の物、リンゴとサツマイモの甘煮、それに差し入れのお漬物2種、干し柿、ミカンと盛り沢山でした。

12月の作業日はお餅つきがあったせい（？）か、新人さんが7人も参加され、賑やかな活動日となりました。2014年もぜひご参加をお待ちしています！

1月の作業日は

1月11日（第2土曜日）、22日（第4水曜日） 9時～（遅刻可）

遊林会の作業会議は **1月8日（水） 午後7時頃**

主 催 者 ： 遊 林 会

連絡先（遊林会事務局）：滋賀県 東近江市 河辺いきものの森 Tel 0748-20-5211 Fax 0748-20-5210

URL : <http://www.yurinkai.org/>

E-mail : ikimono@e-omi.ne.jp

森のブログは「かわべえフットゥ」で検索！

☆第4水曜日の作業

2013年最後の作業日となった25日は、落ち葉かきの竹柵補修を行いました。この竹柵は、2010年2月の第4水曜作業日に作った物で、ほぼ4年が経ち、4面の柵のうち1面が激しく壊れていたため今回作り直すことにしました。

壊れた竹柵の撤去チームと、竹の伐採チームの二手に分かれ、それぞれの作業が終了した後、みんなで補修に取りかかりました。立てた竹を並べて固定し柵とするのですが、竹の上面は節止めをして雨水が溜まらないようにしないといけません。その上で、柵の高さを揃えるために竹を切り揃えるわけですが、竹を節止めして同じ長さに切り揃えてもダメというのが厄介です。なぜなら、不整地の地面に並べるので同じ長さの竹を並べると柵の上面が凸凹するからです。柵の機能上はそれでも良いのですが、水曜のメンバーはこれでは納得しません。現場合わせで竹の長さを微調整しながら、午前中に補修を完了させました。さすが！

お昼は年末恒例のお刺身です！さらにふろふき大根、チンゲンサイの炒めもの、かき玉汁、葛きりの酢の物、白菜と豚の重ね煮などを美味しく頂きました。今年も一年、お疲れ様でした！

☆12月の木ままクラブ

12月5日は8人。第3駐車場側から竹の間伐を行いました。みんなお昼ごはんを食べ過ぎて、昼からはあまり動けませんでした（笑）。

12月19日は13人。朝の雨が残る中、この日も竹の間伐です。作業時は雨がやんだのですが、雨後の竹林は大変！竹に触れただけでシャワーのように水滴が落ちてきます。そこで、カップ持参の人が竹を切り出し、カップがない人は枝はらい等を行いました。間伐を終え、再び降り出した雨のために、今度はテントの下で、台風で倒れたため11月に伐り出したサクラの材でベンチ4台を製作しました。倒れていたサクラでしたが、グライNDERやペーパーで磨くと良い木目が現れ、ステキなベンチになりました。他には、炭の箱詰めを行い、5キロ×10箱分作ることができました。

1月の活動は16日、30日です。

☆スタッフルーム情報

今年は9月19日からほぼ毎日、保育園・幼稚園・小学校等の利用がありましたが、12月13日を最後によりやく一段落しました。

この期間に来訪した保育園～大学（韓国の大学も来ました！）は75園校／3,913人で、これ以外にも同期間に来訪した団体（大人含む）は

39団体／896人、学校等との打合せは28回／57人でした。本当に毎日、たくさんの子どもたちの笑顔に出会うことができました。ちなみに上記の計142団体／4,866人に、団体以外の個人来場者や、遊林会の活動は含まれていません。一言で言えば、「今年も忙しかった！」です。

湖東信用金庫さんのご協力を得て毎年実施している「森のクリスマスコンサート」は、クリスマスにはちょっと早い12月7日に行いました。今回は日本センチュリー交響楽団他のメンバーによる金管五重奏で、滋賀報知新聞さんや東近江スマイルネットさんの宣伝の効果もあって、90人の定員に対し申し込みをお断りするほどの反響があり大盛況でした。演奏者の方の楽しいトーク、クリスマスソングなど、ステキな時間を過ごすことができました。次回は春のコンサートを予定していますので、お楽しみに♪

☆モリイコ！の子どもたち

モリイコ！8回目は、冬の森探検。これまで森をまわる時は大人と一緒にでしたが、今回は初めて子どもだけで班ごとに森へ行きました。緊張したという感想がありましたが、各班とも協力して目的地へと辿り着き、ミッションを達成できました。ミッション達成後のおやつは焼き芋。この焼き芋は、午前に子どもたち自身が起こした火で焼いた物です。天気恵まれない日が多く、冷たい雨の中カップ・長靴姿で森へ行きましたが、くじける子どもはいませんでした。

モリイコ！Sの8回目は、一日丸々森の素材を使ったプログラムでした。午前のリースづくりでは、森でツルを取り、そのツルを土台にしてドングリやマツボックリ、枝などを飾り付けリースにしました。ドングリに顔を描いたりダイナミックに枝を飾り付けたりと、とても個性の出た作品たちが出来上がりました。そして、午後からのジャムづくりでは、森にフユイチゴを摘みに行きました。イチゴパラダイス！というほどたくさんフユイチゴがなっている場所を見つけ、子どもたちは大興奮。出来上がったジャムは自らつけたたき火で焼いたパンにつけて食べました。中には鍋に残ったジャムまで指ですくって食べている子もいました。

☆1月の作業は…

2014年最初の第二土曜日は、作業の休憩時間に、あったかいぜんざいをいただきます！暖かい格好で、ぜひ冬の森におこしてください！